

## 安来市立母里小学校 心に残る文化財子ども塾

5月20日(水)には、安来市立母里小学校に伺いました。6年生7名、5年生11名のみなさんです。2校時は両学年で実物大の大仏パネルを組み立て、3校時には6年生のみで和同開珎作りを行いました。大仏パネルは、1辺1m 四方のシート188枚を台座の部分から上へ上へと積み上げ、総高18mの立派な大仏さまを完成させるもの。和同開珎作りは、ナベで溶かした合金をシリコン製の鑄型に流し込み、銀色に輝く和同開珎を作り出す体験。学校のふだんの授業ではなかなかできないこういう体験活動を通して、歴史や文化、文化財に興味を持ってくれると嬉しいですね。



▲ 大仏パネルの部品は 188 枚もあって大変。 ▲ 完成後、好きな所に立って記念撮影です。



▲ 溶けて液体状になった合金の流し込み。 ▲ 鑄型を開けたら和同開珎の出来上がり！

### 【学習後の感想】

- ・一番心に残ったのは大仏づくりです。5年生と6年生のみなで協力してできたからです。
- ・和同開珎作りは、どうやって作るかも初めて知ったし、昔の人はもっと大変だったと思うから心に残りました。
- ・ぼくはもっといろんなお金があるかを知りたいです。
- ・母里の話を聞いて良かったです。
- ・もっと母里の事とかが知りたいです。

安来市立母里小学校6年生・5年生の皆さん、先生方、ありがとうございました！